

科目名	地域ケアマネジメント論 (Community-Based Care Management)			科目コード	236
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3 年次前期	関連DP	看①②③
担当教員	窪田 静、長尾 奈美、吉田 美由紀*				
授業概要	生活や健康上の多様なニーズを有する在宅療養者に対し、在宅看護論で展開する看護の継続性と広義の在宅看護の視点から、課題解決を図るために必要な知識と技術としてケアマネジメント理論と方法を教授する。				
授業目標	ケアマネジメントの意義・目的・方法、地域ケアチームにおける様々な立場の看護職の機能と役割を理解し、地域で療養する人々を、継続的にシームレスに支援していくために必要な課題を考えることができる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	在宅看護の多様な提供方法 ケアマネジメントと 地域包括ケアシステム	多様な在宅看護 (外来・訪問・施設・通所) 療養の場の移行 (退院支援・退院調整) ケアマネジメントと社会資源 地域包括ケアシステムと看護師の役割 人生会議	窪田静 長尾奈美
2～4	ケアマネジメントと エンドオブライフケア	在宅療養への移行期の看護の実際 看護職が主導する地域医療連携 在宅ケアにおける訪問看護師の役割 がん患者におけるケアマネジメント	吉田美由紀
5	在宅療養者のケアマネジメント	ケアマネジメントのプロセス ニーズを発見し、ディマンズを育てる支援 時間と空間のマネジメント (デイリー・ウィークリーケアプランと長期展望、見取り図の活用)	窪田静 長尾奈美
6～7	在宅療養者のケアマネジメント 演習	演習事例；在宅移行支援期の高齢者	窪田静 長尾奈美
8	急性期病院における地域医療連携	医療・介護をとりまく社会の変化と看護の課題 多職種連携 在宅ケアの専門性の認識から発展すること	窪田静 長尾奈美
成績評価方法		提示した課題へのレポートについて、窪田・長尾 70%、吉田 30%と配点し、総得点で評価する。	
教科書		河原加代子他 (2020)「在宅看護論」(医学書院) 窪田静 (2019)「楽に動ける福祉用具の使い方」(看護協会出版会)	
参考図書等		吉田美由紀「生きた現場の在宅看護入門」(ライフサポート社) 宇都宮宏子・山田雅子 (2014)「看護がつながる在宅療養移行支援 病院・在宅 の患者像別看護ケアのマネジメント」(日本看護協会出版会) 宇都宮宏子・三輪恭子「これからの退院支援・退院調整:ジェネラリストナースがつながる外来・病棟・地域」(日本看護協会出版会)	
授業時間外の学習について		授業で指示した時に、教科書及び在宅医療助成勇美記念財団のホームページ内の「訪問看護活用ガイド」「在宅医療テキスト」を用いた自己学習を行う。	
関連科目		160 リハビリテーション医療 163 社会保健制度論 217 老年看護対象論 218 老年看護方法論 222 小児看護方法論 230 精神看護方法論 232 地域看護学概論 237 在宅看護論 239 在宅看護論実習	
備考		実 窪田、長尾、吉田：看護師 (医療機関) 在宅看護論の進捗状況等により、授業スケジュールを変更する場合がある。	